

建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 白水 隆弘

重点事業の概要〔事業名：道路新設改良事業・小学校周辺交通安全対策整備事業〕

〔目標値：生活道路モデル地区指定数＝5 か所〕

- この事業は、《安全・安心・快適な道路づくりプロジェクト》に位置づけられた事業で、市街地を通過する自動車交通の処理や沿線市街地の良好な環境を確保するため、幹線道路の効果的・効率的な整備に取り組み、また、生活道路でも、安全で快適な道路の整備を進めます。具体的には、大刀洗・立石線及び田代大官町・萱方線の道路改良事業を推進するとともに、市内の各小学校の通学路を対象に、歩行者通行帯のカラー着色を主体とした交通安全対策を図っていきます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 道路事業として、大刀洗立石線の改良工事を本年度完了に向けて推進しており、現在、国道部の舗装工事、交差点改良に伴う信号機移設工事等に着手しております。また、田代大官町萱方線の事業着手にあたり、8月に事業関係者を対象とした地元説明会を開催し、今後の事業内容等を周知した上で、事業進捗を図るために、測量、道路詳細設計業務に取り組んでおります。 交通安全対策については、鳥栖小学校区の通学路の2路線において、歩行者通行帯のカラー着色舗装工事を進めております。
	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 道路事業及び交通安全対策は、事業計画に基づいた進捗が図られております。
	下半期への対応	<ul style="list-style-type: none"> 大刀洗立石線は、着実に工事完了できるように、適切な工事進捗管理を行ってまいります。また、田代大官町・萱方線は、交差点協議など関係機関等との連携を図りながら、計画的な事業進捗に向け、取り組んでまいります。 麓、旭小学校区における歩行者通行帯のカラー着色を主体とした交通安全対策工事を発注し、安全で安心な通行帯の確保を目指します。
下半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 大刀洗立石線の改良工事については、国道部の舗装工事や交差点改良に伴う信号機移設等が完了しました。 交通安全対策については、新たに麓小学校区の通学路1路線及び、旭小学校区の通学路3路線において、歩行者通行帯のカラー着色舗装工事を整備しております。
	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 国など関係機関との連絡調整を密に行い、工事進捗の適切な管理に努めたことから、目標であった大刀洗立石線道路改良の年度内完了が可能となりました。
	目標値の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 大刀洗立石線の改良工事は、平成27年度に全て完了しました。 田代大官町萱方線は、本年度に実施中の測量、道路詳細設計業務が3月に完了する見込みです。 交通安全対策については、鳥栖小学校区通学路2路線、麓小学校区通学路1路線、旭小学校区通学路3路線において、歩行者通行帯のカラー着色舗装工事が完了しました。
	次年度への対応	<ul style="list-style-type: none"> 田代大官町萱方線の道路改良事業は、早期に工事が着手できるよう事業に関わる調査等の促進や事業用地の確保に努めます。 歩行者通行帯のカラー着色を主体とした交通安全対策について、継続的に事業に取り組み、児童等の安全を確保するよう努めます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

道路改良事業については、今後も引き続き関係機関との連携を図りながら、事業の進捗に努めること。また、交通安全対策については、効率的・効果的に努めること。

下半期

道路改良事業については、早期事業着手できるよう努めること。
交通安全対策については、効率的・効果的に努めること。

建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 白水 隆弘

<p>重点事業の概要〔事業名：主要県道の整備促進要望〕</p> <p>〔目標値：県道の整備延長＝3.3 km〕</p> <p>○ この事業は、《安全・安心・快適な道路づくりプロジェクト》に位置づけられた取組み「①国道・県道の整備」における県道の整備を実現するための事業です。具体的な取り組みとしては、佐賀川久保鳥栖線や中原鳥栖線などの整備促進と未整備区間の整備計画策定を県へ要望していきます。</p>
--

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	・佐賀地区建設関係合同期成会の要望活動を通じて、国土交通省、財務省、地元選出国會議員及び九州地方整備局へ主要地方道佐賀川久保鳥栖線整備促進の要望活動の実施しております。また、県との事業調整会議を通じて、県事業の進捗状況把握等を行っております。
	自己評価	・期成会等を通じて、主要地方道佐賀川久保鳥栖線などの整備促進等の必要性と重要性を国土交通省、九州地方整備局等に伝えることができた。
	下半期への対応	・県道佐賀川久保鳥栖線の整備促進へ向け、地域における事業の必要性及び重要性を確認するために、麓地区県道・市道整備促進期成会を開催する。また、次年度へ向けた県道の整備状況等を確認する。
下半期	取組実績	・麓地区県道・市道整備促進期成会を開催し、主要地方道佐賀川久保鳥栖線整備促進の認識を地元と共有した。 ・個別事業については、県との事業調整会議を開催し、事業推進に伴う問題点の把握や課題の整理等を図った。
	自己評価	・佐賀地区建設関係合同期成会の要望活動を通じて主要地方道佐賀川久保鳥栖線の現状と課題を伝え、鳥栖地区における県道事業の必要性及び重要性を強く訴えることができた。
	目標値の達成状況	・県道の整備目標延長 3.3km は完了し、進捗率 100%を達成しています。
	次年度への対応	・引き続き期成会等を通じた要望活動を実施し、現状と課題を伝え、鳥栖地区における県道事業の必要性及び重要性を強く訴えていく。 ・個別事業については、県との事業調整会議等を通じて情報の把握に努め、県と連携して県道事業の推進を図っていく。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期
国、県及び関係機関との連携を図りながら取り組むこと。

下半期
今後も、国、県及び関係機関との連携を図りながら取り組むこと。

建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 白水 隆弘

重点事業の概要〔事業名：長期未着手都市計画道路の見直し〕
〔目標値：都市計画道路の総延長＝64.8km〕
 ○ この事業は、《安全・安心・快適な道路づくりプロジェクト》に位置づけられた事業で、機能を重視した効率的な道路整備を実現するため実施する事業です。
 具体的には、都市計画道路見直し計画によって、計画変更及び廃止等になった都市計画道路の都市計画（変更・廃止）手続きを進めていきます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	・都市計画道路見直し計画において計画内容の再検討などに位置づけられた路線について、関係機関との協議等を行った。
	自己評価	・現時点での他事業の動向などの把握に努めた。
	下半期への対応	・今後も他事業の動向などを見極めながら、引き続き関係機関との協議等を行っていく。
下半期	取組実績	・計画内容の再検討に位置づけられた路線の取り扱いについては、関係部署との意見交換を行った。
	自己評価	・鳥栖駅周辺まちづくり基本構想など他事業の動向を注視し、内容把握に努めた。
	目標値の達成状況	・計画内容の再検討に位置づけられた路線については、今後、見直しの方向性を検討するための調査研究を進めることで庁内合意を得た。
	次年度への対応	・計画内容の再検討に位置づけられた路線については、見直しの方向性を検討する外部組織の設置準備を進める。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期
引き続き関係機関と連携を図りながら取り組むこと。

下半期
関係機関と連携を図りながら調査研究に取り組むこと。

建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 白水隆弘

重点事業の概要〔事業名:公共施設マネジメント事業〕〔目標値:公共施設保全計画策定進捗率=100%〕

○この事業はく市民に信頼される市役所プロジェクト>に位置づけられた事業で、経年変化に伴う物理的劣化等に対応するため、修繕・改修等による性能の維持・向上によって、長期的な公共施設の有効活用が図られることから、各施設の特性に応じたマネジメント内容の計画策定を進めていきます。具体的には、公共施設の劣化、修繕履歴、施設運営に係るコスト調査を行ったうえで、施設の延命化、最適化の検討を行い、公共施設の整備時期、方向性（改築、改修、転用、廃止等）等について検討を進め、公共施設の中長期保全計画の策定を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	公共施設における課題の整理を行うため、各施設の基本情報（根拠条例、設置目的、運営等）、建物の状況、利用状況、防災・バリアフリー対応状況、収支の状況等の現状把握調査を行っています。
	自己評価	各施設の運営を含めた現状把握調査を行うことにより、各施設の現状の分析や様々な課題の把握するための情報収集ができています。
	下半期への対応	公共施設における用途別ごとに現状の分析、課題の把握及び整理を行い、公共施設等白書の作成のための作業を行うこととしています。
下半期	取組実績	公共施設における用途別ごとに現状の分析、課題の把握及び整理を行い、公共施設等白書の作成のための作業を行っています。
	自己評価	各施設の運営を含めた現状把握及び整理を行うことにより、各施設の現状の分析や様々な課題の把握ができています。
	目標値の達成状況	公共施設中長期保全計画の上位計画である公共施設等総合管理計画を策定するための基礎資料となる公共施設等白書の整理ができています。
	次年度への対応	公共施設等白書を基に、今後の方向性である適正な公共施設の量と機能の見直しを行い、公共施設中長期保全計画の策定を進めていきます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

早期に公共施設の中長期保全計画が策定できるように努めること。

下半期

引き続き公共施設の中長期保全計画が策定できるように努めること。

建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 白水 隆弘

重点事業の概要〔事業名：道路里親制度事業〕〔目標値：道路里親制度加入団体数＝21団体〕

○この事業は、《みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト》に位置づけられた事業で、市民協働のまちづくりを進めるとともに、道路美化・景観の向上を推進するために、市道の美化活動のボランティア事業を進めていきます。市民のボランティアによる道路の環境美化活動を通して、市民協働の意識の向上やまちづくりへの参画機運の拡充を図っていきたくと考えています。具体的には、道路里親の新たな担い手となる団体や個人の募集のため、市報やホームページ等を活用して、広報の充実を図っていきます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	道路里親制度の充実を目的に、市報やホームページへの道路里親制度の掲載、道路への里親看板の設置などの広報活動に努めた。
	自己評価	広報活動の成果として、道路里親制度への2団体と個人2名の新規加入があり、参加人員の増加が達成できた。
	下半期への対応	加入されている里親団体との意見交換会を行い、現状の把握や課題の抽出等を行い、更なる制度充実に努めてまいります。 また、里親募集など里親制度の情報発信方法のあり方について、研究してまいります。
下半期	取組実績	ホームページ等により制度のPRを行いました。 また、里親団体に対し除草用具等の支給を行うなど、制度の充実に努めました。
	自己評価	広報の成果として、里親団体の加入数が着実に増加しています。
	目標値の達成状況	平成25年度 15団体 平成26年度 16団体 平成27年度 18団体（1月末現在）
	次年度への対応	里親制度に加入せず、ボランティアにより道路の清掃などを行われている方々の制度加入を進める必要があると考えています。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

制度の活用、周知についての効果的な広報に努めること。

下半期

今後も制度の活用、周知についての効果的な広報に努めること。